

An aerial photograph of Nagoya, Japan, showing a dense urban landscape with numerous high-rise buildings. In the foreground, the campus of Nagoya Institute of Technology is visible, featuring modern academic buildings, green spaces, and a road with a few cars. A semi-transparent dark blue rectangle is overlaid in the center of the image, containing white text.

名工大Q & A

～名工大で働く若手職員に質問～
～よく聞かれる質問集～

2025年8月

名古屋工業大学

本Q&Aについて

名工大で先輩職員がどのように働いているかなど、満足にお伝えする機会が少ないこと、また実態が見えにくい！という声を受けて、以前開催した説明会で受けた質問を中心に若手職員にアンケートをお願いしました。

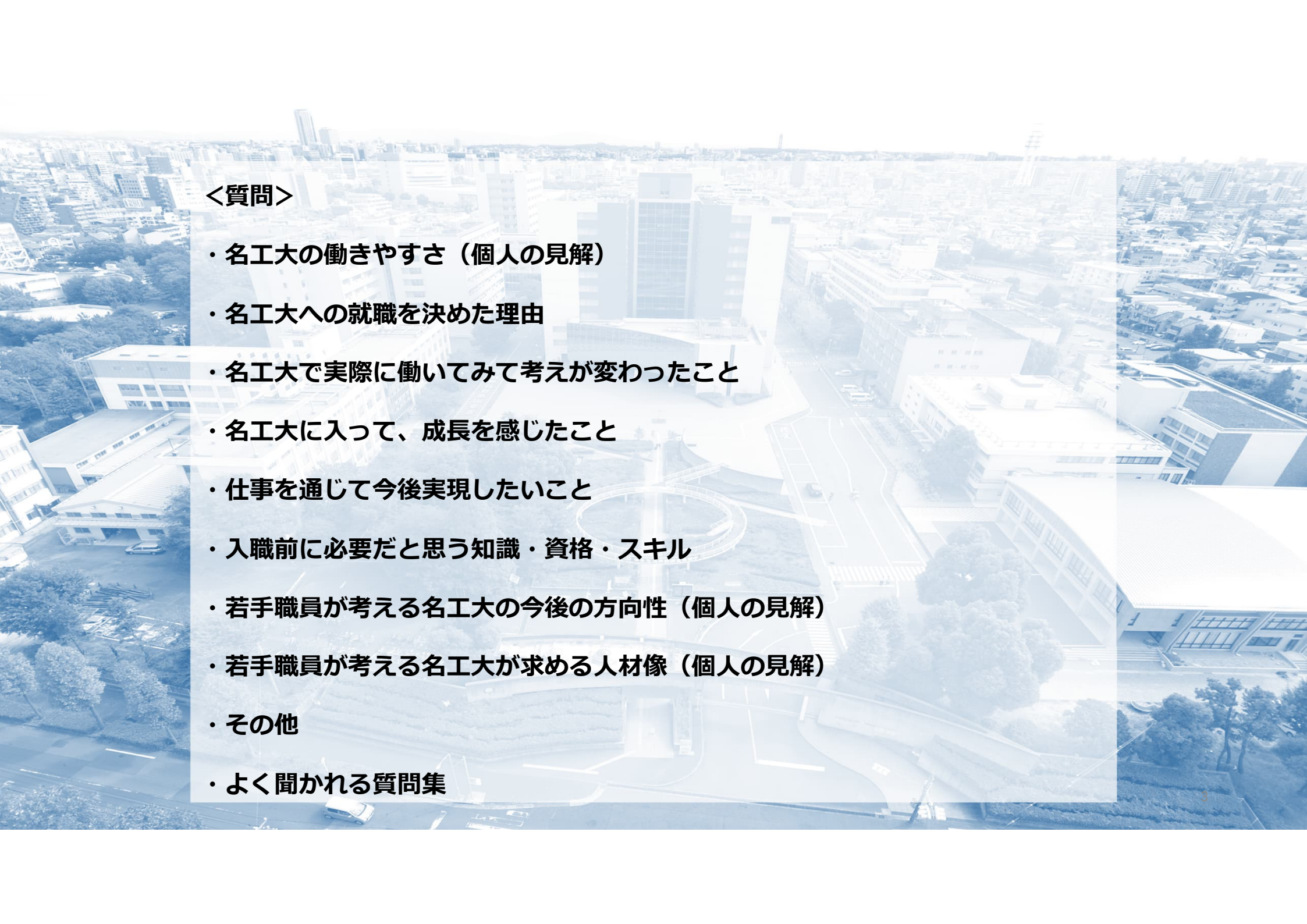
本音での回答をお願いしたので、皆さんが名工大を理解する一助となれば幸いです。

アンケート対象：勤続5年未満の若手職員

※集計者注：あくまでも当該回答は個人の主観・見解に基づく回答ですので、その点を理解の上でご覧ください。（回答は順不同）

その上で集計者が補足したい場合は（集計者注：○○）の表記で注記しています。

後半には、よく聞かれる質問をまとめた質問集も掲載しています。

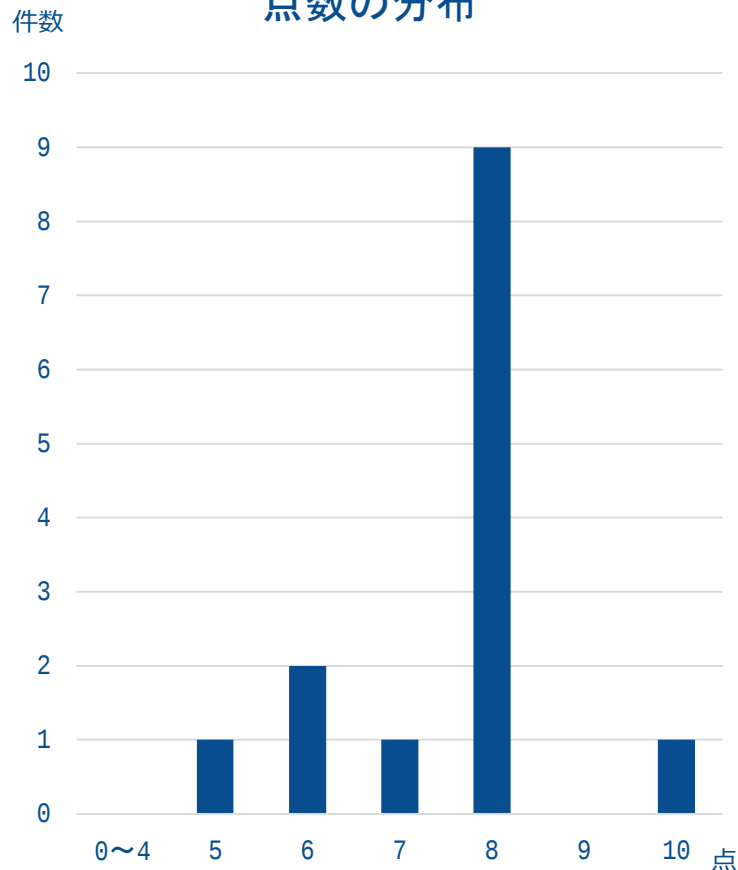


＜質問＞

- ・ 名工大の働きやすさ（個人の見解）
- ・ 名工大への就職を決めた理由
- ・ 名工大で実際に働いてみて考えが変わったこと
- ・ 名工大に入って、成長を感じたこと
- ・ 仕事を通じて今後実現したいこと
- ・ 入職前に必要だと思う知識・資格・スキル
- ・ 若手職員が考える名工大の今後の方向性（個人の見解）
- ・ 若手職員が考える名工大が求める人材像（個人の見解）
- ・ その他
- ・ よく聞かれる質問集

名工大の働きやすさ（※個人の見解）（1 / 4）

点数の分布



職員それぞれに自分が働きやすいと感じる要因は異なりますが、ここでは若手職員各個人が働きやすいと思う要因を踏まえた上で、名工大での働きやすさを10段階で評価してもらいました。

回答者平均 7.57

全然ダメ

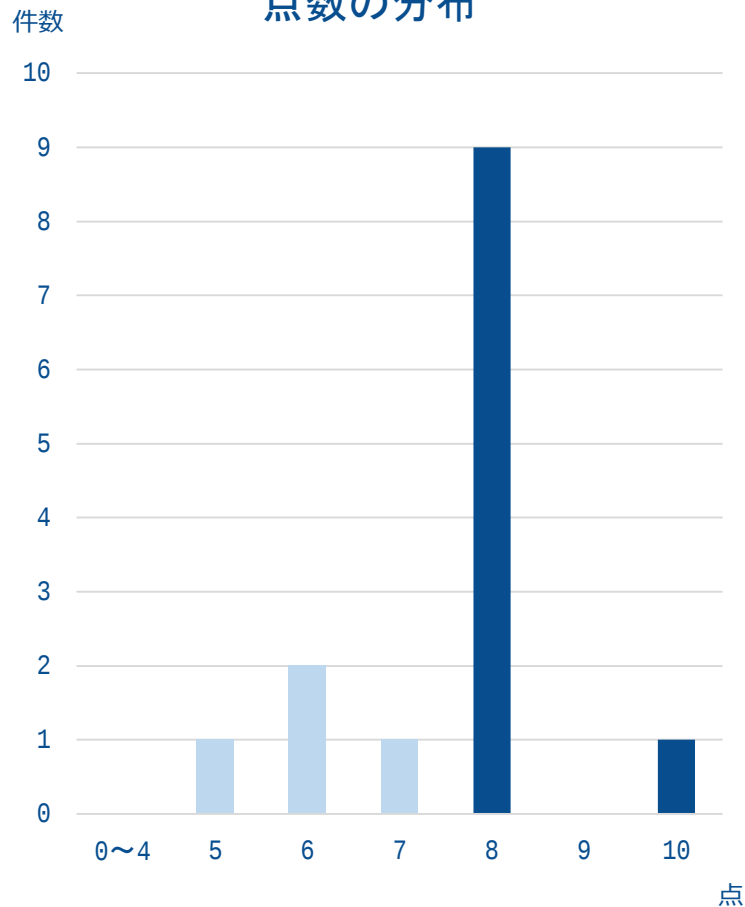


すごく
働きやすい



名工大の働きやすさ（※個人の見解）（2 / 4）

点数の分布



評価10点

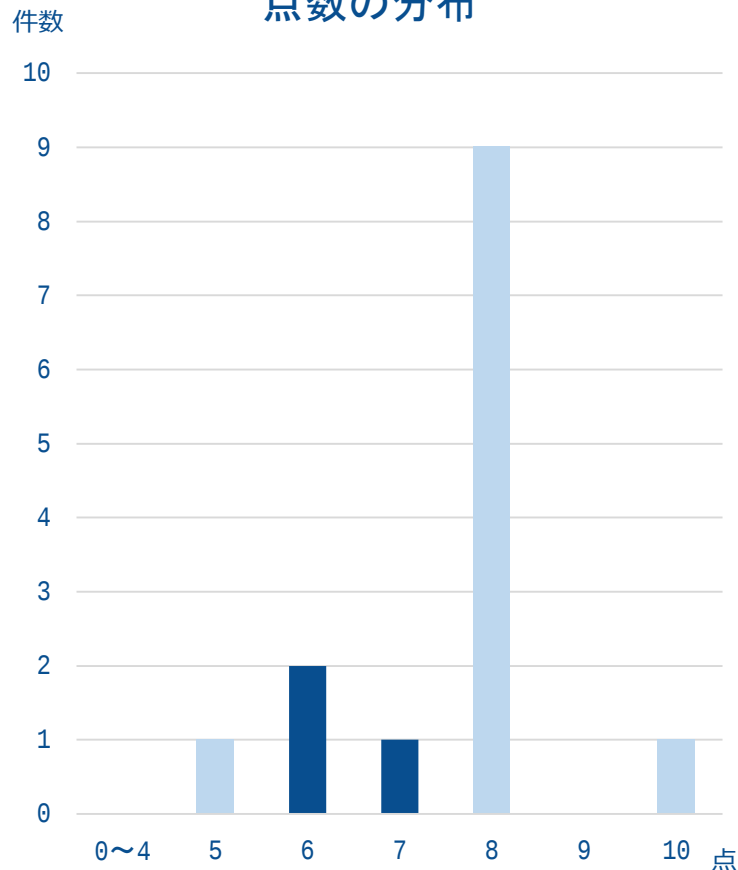
- 有給取得に理由を言わなくてもよいところが良いです。
- 残業をどうしたら減らせるか上司が積極的に考えてくれるところが良いです。

評価8点

- 上司や周りの人に相談がしやすい雰囲気があることや、行事ごとなどの際は課全体で協力できる雰囲気があるため、働きやすいと感じています。また若手職員同士でも、積極的に輪に入れてくれる方が多いので、人間関係に恵まれていると思っています。
- たまに関わりが難しい先生がいますが基本的にはいい人ばかりで助かっています。
- 自分が今配属されている課は、圧倒的に話しやすい環境が整備されていると感じます。休憩時間や業務時間外に業務に無関係の話題を話すので、人としてほど良い距離感が築かれて、仕事の際も相談しやすいです。
- 課・係によって残業の多い・少ないがあります。今は働きやすい要因に「残業が少ないこと」を入れましたが、部署によって異なるので、課・係の残業時間の差がなくなればいいのかなと思います。
- 残業も少なめで年休も取りやすいところが良いです。
- 今いる部署は人間関係がとても良く、働きやすいです。
- とても働きやすい職場だと思いますが、課によっては残業が多くなってしまったりしているので、もう少し改善可能な部分もあるのかと思いました。
- アットホームな職場だと感じますし、みんな優しいです。有休も比較的取りやすいです。いろいろな友達の話を聞いていると、他の職場より全体的に働きやすいと感じます。

名工大の働きやすさ（※個人の見解）（3 / 4）

点数の分布



評価7点

- 取りたい時に休みがとれる点は良いところですが、残業のある時期が集中しているところがマイナスです。

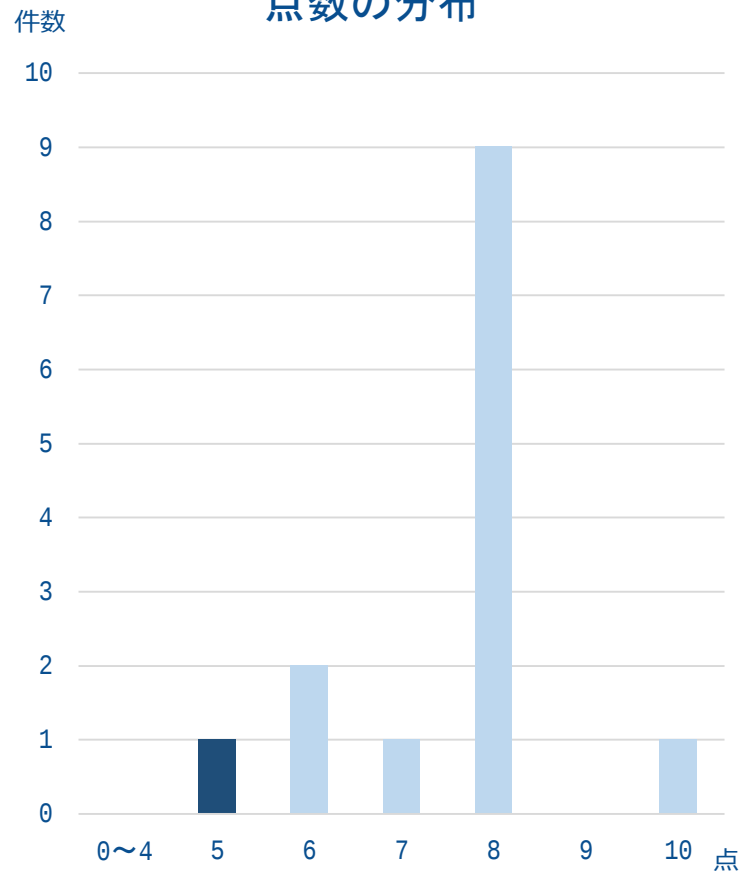
評価6点

- 給湯室が汚い(19号館1階)です。窓口業務が多く、自室で休憩できないためもっと気軽に休めるスペースが欲しいと思います。更衣室の休憩所は狭い。
(集計者注:給湯室は掃除をしてないだけかな?と思います。気軽に休むスペースも多くなる印象です。)
- 部署や時期にもよると思いますが、休暇は前職よりかなり融通が利くようになりました。窓口がある部署のため毎日ですが、一時期は介護のために在宅勤務もさせていただき、とてもありがたかったです。
- 部署にもよるとはと思いますが、「正しい判断をして、仕事を一人で間違いなくこなせる」という面のみで人が評価されているように感じる事が多くありました。また、同じ課内でも業務負担のばらつきが気になりました。そういった理由で休職、退職をしてしまう人がいるのがもったいないなと思います。職員の個性や得意・不得意も共有しながら、みんなで情報共有してカバーしあいながら仕事を進めていけるような雰囲気もう少しあれば良いなと感じます。

(集計者注:集計者の課ではカバーしあっています(自身も何度も助けてもらっています...)ので、この輪を広げていき、名工大で働く職員全員が働きやすいと感じる環境を目指しています)

名工大の働きやすさ（※個人の見解）（4 / 4）

点数の分布



評価 5 点

- 福利厚生が良いところは評価できます。

名工大への就職を決めた理由

なぜ名工大を選んだのか、表向きの理由と本音の双方をききました。

中部の強みである工学と教育を兼ね備えており将来性があるからです。

工学分野はものづくり等すべての分野で必要とされることから、名工大のニーズも高まるように感じたからです。

工学という今まであまり関係してこなかった分野の単科大学というところに魅力を感じたからです。

エンジニアの卵である学生たちに何不自由なく学べる環境を提供できる立場になりたいと思ったからです。

産学官連携が整っており、将来を担う人材育成に関わりたいと感じたからです。

名工大の卒業生で馴染みがあり、学生と関われる仕事をしたかったからです。

教育機関で働きたかったからです。

有給休暇が取りやすいそうだったからです。

名工大以外不採用だったからです。

大学事務の方がメンタル的に長続きしそうだったのと、ホワイトそうだったからです。

独自採用試験を実施しており、大学職員を目指している人を取りたい組織の思いを感じたからです。

福利厚生や褒賞制度など働きやすい職場だと思ったからです。

立地が良く、しばらく潰れなさそうだったからです。

名工大の業務説明会でどの職員も笑顔で楽しそうに対応していたからです。

名工大で実際に働いてみて考えが変わったこと（抜粋）

良かったこと

- ・ 規模が大きすぎないので学内の人とたくさん触れ合えること。
- ・ 福利厚生が整っていること。
- ・ 有給が多い＆取りやすいこと。
- ・ 想像よりもリラックスして働けること。
- ・ 先生の研究も支えることができること。
- ・ 自分のペースで仕事をしやすいこと。
- ・ 上からの指示を聞いて仕事をすると考えていましたが、若手が活躍できる機会が多くあること。
- ・ 職員が優しいこと。
- ・ ノルマのようなものがなく、係など複数人で協力しながら仕事を行うことができること。
- ・ 基本的に同じ人が学内をぐるぐるしているので、いろんな所に知り合いがいて安心できること。

悪い面

- ・ 古い考えの悪い部分が残ってしまっていること。
- ・ 異動が多い割には他の課の状況が分からなく、異動が魅力的に感じないこと。
- ・ 残業の多さが部署によってかなり偏りがあること。
- ・ サービス残業をしている人がいること。
- ・ マニュアルが整っていないところがあること。
- ・ お手洗いが汚いことや、職員の休憩スペースが少ないこと。
面接の場所(4号館)が綺麗だったので知らなかった...。
(集計者注：お手洗いは基本的に清潔ですし、休憩スペースも多くあります。本部棟に関しては改修工事を行ったので綺麗です！)
- ・ 個人プレイな業務もあること。
- ・ 課や係によって業務量に差があること。

その他

- ・ 事務職員ということで、パソコンとにらめっこしていると思われがちだが、データ整理業務はあまりなく、突拍子のないことや、前例のない事象が次から次へと発生すること。
(集計者注：課によって異なります)
- ・ イメージ通りでした。
- ・ 学生系がイメージとして強かったが、大学職員の仕事は想像よりも多岐にわたること。
- ・ 不満は全くないです。

名工大に入って、成長を感じたこと（1 / 2）

仕事に対する姿勢

<回答（一部抜粋）>

- 今までの自分は注意散漫だったなと改めて思うぐらい、細かいことに前より気が付くようになりました。
- 自分自身で考えて動く力が身に付きました。
- 人によって対応の仕方を変えることの大切さを学びました。丁寧さよりもリズム感を大切にされる方もいることから、その人が何を重視しているのかを考えながら対応するように心がけています。
- 自分で考えて、仕事を回していく力がついたと感じます。
これは縦割りで仕事をしていることから、主体的に行動する必要があったことが大きいように思います。
- 人間関係を大切にすることで仕事がうまく回るようになることを学びました。
- 大学独自のルールで分かる部分が多くなりました。
- 事務処理の本質的な部分に対する考え方が養われた。どうしてこの処理が必要なのか等です。

名工大に入って、成長を感じたこと（2 / 2）

スキル

<回答（一部抜粋）>

<PCスキル>

- Word、Excel等の知識がついた。
- 仕事のスキル面として、Excelの技術が上がりました。
- メールや電話対応などの社会人としての基礎的なビジネスルールやPCスキルが向上しました。

<言葉遣い・マナー>

- 社会人のマナーが身につきました。
- 仕事の中で人とかかわることが増えたため、言葉遣いなど気を付けるようになりました。
- 電話や初対面の人との会話、お店の予約などで緊張しにくくなりました。
- 企業や先生とのやり取りが徐々にスムーズになりました。

<その他>

- スケジュール管理能力が向上しました。
- 社会と大学との繋がりを感じられるようになりました。

仕事を通じて今後実現したいこと（抜粋）

学生が卒業するときや、外部から人が来たときに名工大が良い大学だと思ってもらいたいです。

事務職員が働きやすい環境を整えたいです。

視野を広く持てるように、大学全体を俯瞰してより良い大学づくりに貢献したいです。

自分の担当した業務によって、何か新しい一歩を踏み出したり、共同研究がスタートしたりなど、間接的に新しい何かを生み出したいです。

先生方が研究をスムーズに行えるように、なんでも聞ける窓口になりたいです。

規則に則った正しい手続きと素早い処理を両立できるようになりたいです。

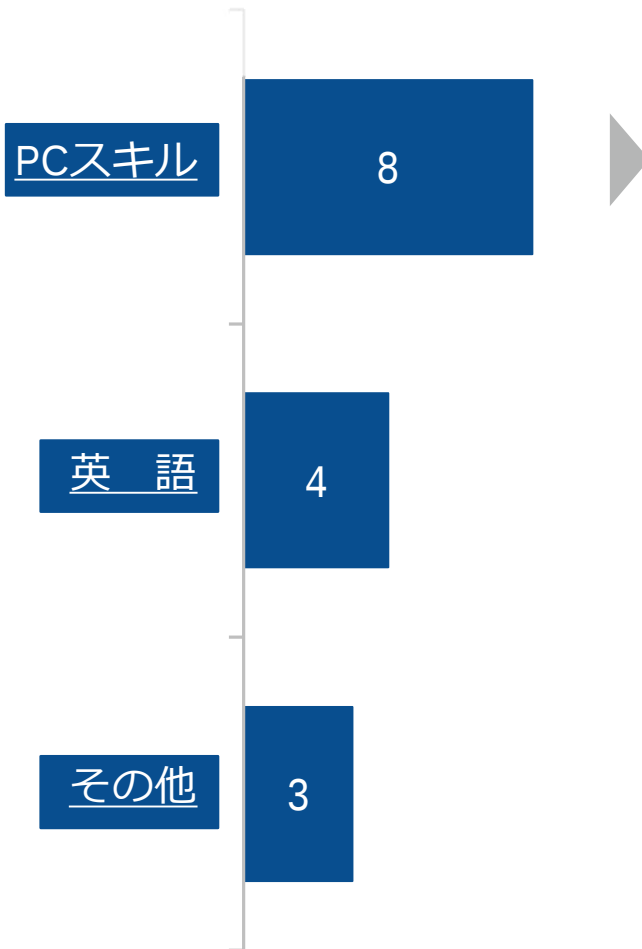
他の課・系の業務を経験し、大学職員としてスキルアップしていきたいです。

みんなが早く帰れる職場を作りたいです。

DXのスキルを身に付け、作業効率を上げられるようにしていきたいです。

入職前に必要だと思う知識・資格・スキル（1 / 4）

採用担当からは、入職後に学んでいけばよい旨をお伝えしていますが、実際のところ働いてから入職前にやっておけばよかったことを聞いてみました。（複数回答可）



結果、

PCスキルが8件、英語が4件、その他が3件でした。
次ページでそれぞれについての意見を記載します。

入職前に必要だと思う知識・資格・スキル（2 / 4）

※ 自由記述から集計（複数回答の場合は別項目として集計）

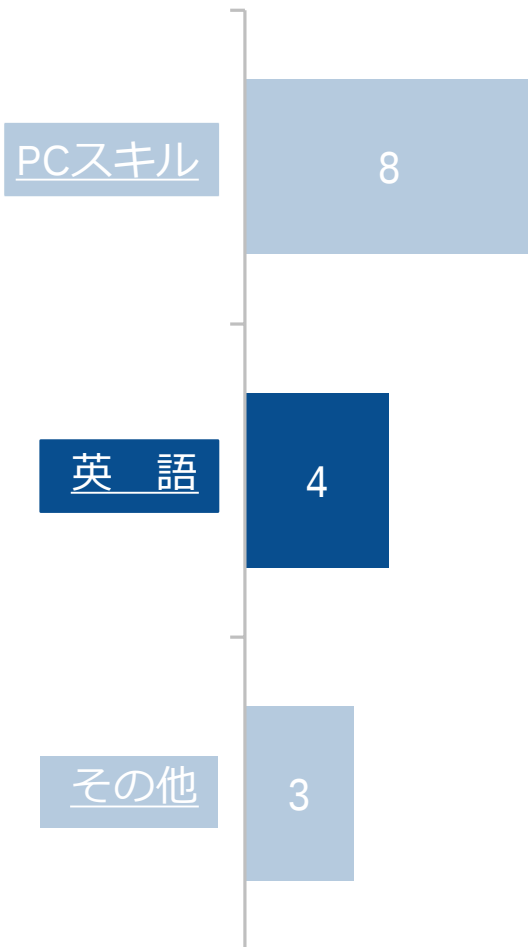
＜回答（一部抜粋）＞



入職前に必要だと思う知識・資格・スキル（3 / 4）

※ 自由記述から集計（複数回答の場合は別項目として集計）

＜回答（一部抜粋）＞

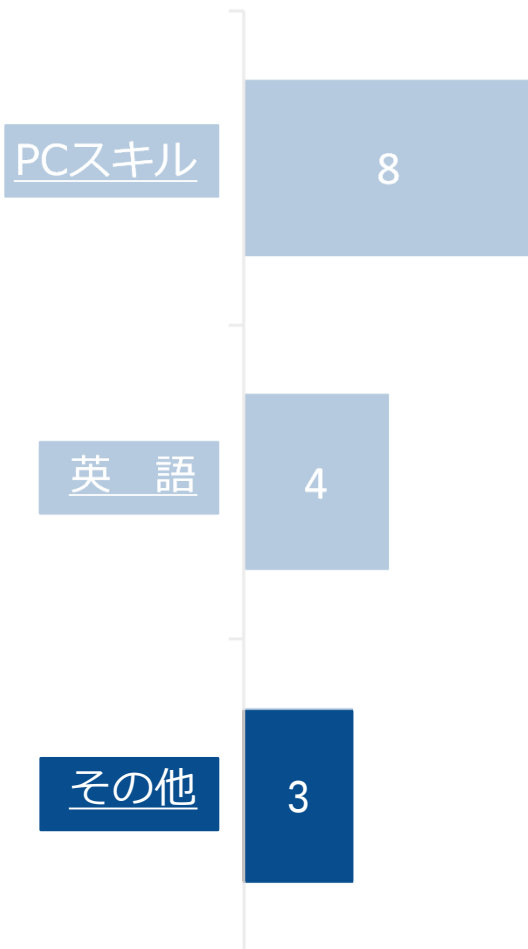


- ・ 窓口で日本語を話せない方が来た時に、ある程度英語が話せればよかったと思います。
- ・ 英語のビジネスメールの書き方を知っておくことや、ビジネス英語での決まり文句の語彙を増やすことは必要だと思います。
- ・ 語学能力（英語）があれば活きる場面があると思います。
- ・ 英語能力があればと毎日思っています。

入職前に必要だと思う知識・資格・スキル（4 / 4）

※ 自由記述から集計（複数回答の場合は別項目として集計）

＜回答（一部抜粋）＞



＜その他寄せられた意見＞

- ・ コミュニケーションスキルをもっと磨いていれば良かったです。
- ・ 日本語・英語以外の言語の勉強もやっておけば良かったです。
- ・ 簿記は知っておいて損はないです。

若手職員が考える名工大の今後の方向性（※個人の見解：抜粋）

これは何事もそうだと思っていますが、現状維持を目指していると緩やかに後退していくものです。現状維持以上の向上心をもってしてはじめて良い状態をキープできます。少なくともそうありたいですし、よりよい運営、よりよりしくみを作っていくことが肝要だと思います。

役職の高い方々は若手職員に意見を聞いて、取り込んでくれる方が多いので、時代に遅れをとらない新しいアプローチ方法を実現できる大学になっていくと思います。

事務局のDX化がより進んでいくのではと感じています、現在、出納係は紙での決済ですが、今後請求書を電子媒体でのみ発行することになれば電子化・効率化に向かっていきそうだなと思っています。

18歳人口の減少が見込まれることから、よりよい学生を確保する必要があると思います。

とにかく人間関係が良ければ頑張っていけるので、教職員全体が良好な関係を築くことができれば良いと思っています。

工科に特化しているという特徴があるので、愛知県内だけでなく、全国的に注目されるような研究や取り組みを行ってほしいと思います。

人事異動制度については見直すべきだと思います。今までの経験したことのない部署でいきなり係長として配属される、というケースがあるので、それはどうなんだろうとは思っています。

簡略化、デジタル化が積極的に進められていきそうだと感じます。

少子化が大学に大きく影響していることを実感するので、新しいことに挑戦していくことが必要だと感じています。

学生が気軽に質問や相談に来れる課にしていきたいと思います。

事務局全体で繁忙期の課をサポートできる体制が整うとより良いと思います。

若手職員と一緒に働きたい人物像（※個人の見解） (1/2)

大学全体としては様々な人材を求めています、一方で、実際に働いている若手職員が向いている人材や一緒に働きたい人材をどのように考えているか聞いてみました。（抜粋）

- 素直にコミュニケーションが取れる方と一緒に働けたら嬉しいです。
- 様々な人と上手くコミュニケーションをとれる人と働きたいです。
- 困ったときにとりあえず相談しよう、という考え方ができる人は向いてると思います。正直その気になればいくらでも仕事を増やせてしまうため、一人で抱え込み過ぎてしまう人はパンクしてしまう気がします。
- 単科大学ということで事務職員の人数も比較的少ないので、関係性が他大学と比べて近いと感じます。そのため、ある程度人となりが分かるよう素を出せるような人だと、すぐに打ち解けられて相談もしやすいのではないかと思います。
- いろんな業務内容に対応できる（臨機応変にこなせる）人と働きたいです。
人事異動が多いのでいろんな業務をこなせる人がいいのではないかと思います（自分がそういう人ではないのですが...）。
- 明るく元気な方と働きたいです。
- 柔軟な発想ができる人と頑張りたいです。

若手職員と一緒に働きたい人物像（※個人の見解） (2/2)

大学全体としては様々な人材を求めています、一方で、実際に働いている若手職員が向いている人材と一緒に働きたい人材をどのように考えているか聞いてみました。

- 自分だけがよければ良いという考えではなく、周りのために動ける人と働きたいです。
- コミュニケーション力が高い人と働きたいです。
- コミュニケーション能力がある人は重要だと思います。積極的に意見を言える等の能力ではなく、事務職は横や縦のつながりも業務上重要だと思うので、つながりを大切に出来ることが大切だと感じています。
- 優しい人、人の気持ちを考えられる人と働きたいです。
- 一つの課しか経験していませんが、課・係内で情報を共有していくことが大切だと思うので、一人で勝手に進めていくのではなく、周りの意見を聞きながら行動できる人が良いと思いました。

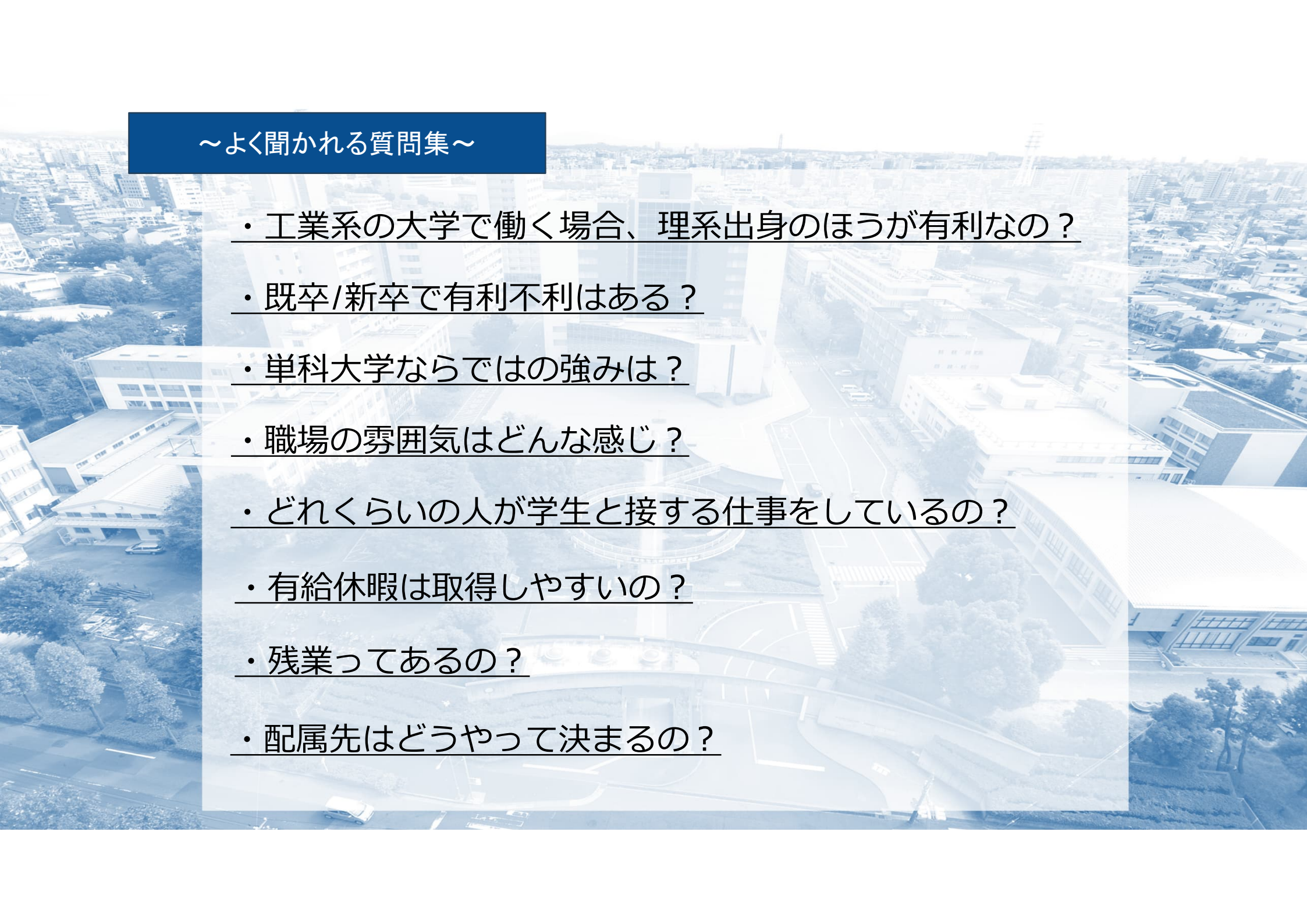
その他

仕事で難しいと感じたこと（一部抜粋）

- 自分一人で完結しない仕事はやはり大変だと感じます。ほうぼうと調整し、コミュニケーションをとり、取るところと落とすところを見極める、ということはまだ一人ではできませんので思い切り周りを頼ってます。
- 自分自身の圧倒的な知識不足により、上司への相談内容自体のレベルが低いことから、解決までの時間を自分自身で延ばしてしまっているように感じます。一度経験したことは全て吸収して、再び同じ事象が発生した際には滞りなく対応できるように、常に学ぶ姿勢が大事のように感じます。
- 引継ぎです。他の人から引き継いだとき、マニュアルを見ても書いてないことがあって、過去の決裁等を見てやりました。あとは自分の業務を他の人に引き継いでもらうとき、全てをマニュアルに書ききれていなかったので次引き継ぐときはもっと詳細なマニュアルや引継書を作成しなければと思っています。
- 人に物事を説明すること。自信をもって整理して人に説明するのは難しいと感じる。特に目上の方に説明するのは、緊張もしてしまいます。
- マルチタスクの管理。漏れのないように確実にリストアップし、優先順位をつけていました。その上で進捗状況を随時更新し、一目で現状を分かるようにしていました。

入職前にどんな経験をしてきたか（一部抜粋）

- 大学生のころ、部員が100人超えるくらいの規模のサークルに入っていましたが、そこで人と繋がることの重要さと、受け身でいるより能動的に何でも自分から動いてみる大切さに気が付きました。
- 学生時代、ゼミナールでイベントを開催することもあり、パワポやチラシを作成する機会が多かったので、そこでの経験が入職後、イベント実施に携わる際にポスターやチラシ等作る際に大いに活かされていると感じる。
- 飲食店のアルバイトの経験は、効率よくタスクをこなす際の考え方に活かしています。
- 学生時代は、学生団体を設立し運営したことがあります。改善策を考えたり、提案・実行を繰り返してきたため、業務改善にも積極的に取り組むことができます。
- レポートを書く際に、常に順序立てて考えることを意識していたので、論理的な思考力が身についたと思います。



～よく聞かれる質問集～

- ・ 工業系の大学で働く場合、理系出身のほうが有利なの？
- ・ 既卒/新卒で有利不利はある？
- ・ 単科大学ならではの強みは？
- ・ 職場の雰囲気はどんな感じ？
- ・ どれくらいの人が学生と接する仕事をしているの？
- ・ 有給休暇は取得しやすいの？
- ・ 残業ってあるの？
- ・ 配属先はどうやって決まるの？

工業系の大学で働く場合、理系出身のほうが有利なの？

事務職員の場合は、文系・理系は関係ありません。

業務内容としては、法律に関するものであったり、会計に関するものであったり、多岐にわたるので、皆さんそれぞれの能力が発揮できる職場です。

また、工学系の知識についても、持っていれば有利な面もありますが、特別必要ありません。

業務を行うにあたって、必要な知識を少しずつ身に着けていけば大丈夫です。

法学部卒、経営学部卒、工学部卒など、様々な学部出身者が名工大で活躍しています。

既卒 / 新卒で有利不利はある？

既卒、新卒の別で採用の有利不利はありません。

採用候補者を総合的に判断して採否を決定しますので、既卒者だからといって不利ということはありません。

なお、元銀行マン、元専門商社の営業、元SEなど、様々な経歴の先輩が名工大で活躍しています。

単科大学ならではの強みは？

単科大学は総合大学に比べると小さな組織のため、学長や事務局長といった組織のトップの意思決定が迅速に行われることが強みの1つです。

これにより、通常業務はもちろんのこと、何か問題が発生した際などにも迅速な対応が可能です。

職場の雰囲気はどんな感じですか？

本学は、比較的小さな組織ということもあり、職員間のコミュニケーションが非常にとりやすく、とても風通しの良い職場です。

また、安心して業務を行っていくことができるよう、新しく採用された職員に対して、2～3年前に採用された先輩職員がサポートを行う、「若手職員アドバイザー制度」を設けています。

職員同士でテニスやサッカー、ボウリングなどスポーツをしたり、飲み会などを行うなど、部署を超えた職員間の交流も行われています。

どれくらいの人が学生と接する仕事をしているの？

現在、本学で働いている事務職員（約120人）のうち、**約3割**の職員が、学生と接する機会の多い、学務課・学生生活課・入試課に所属しています。

大学職員のイメージは、学生と窓口で直接やりとりするような印象が強いと思いますが、**意外にも教職員や企業・官庁などとやりとりする仕事をしている職員も数多くいます。**

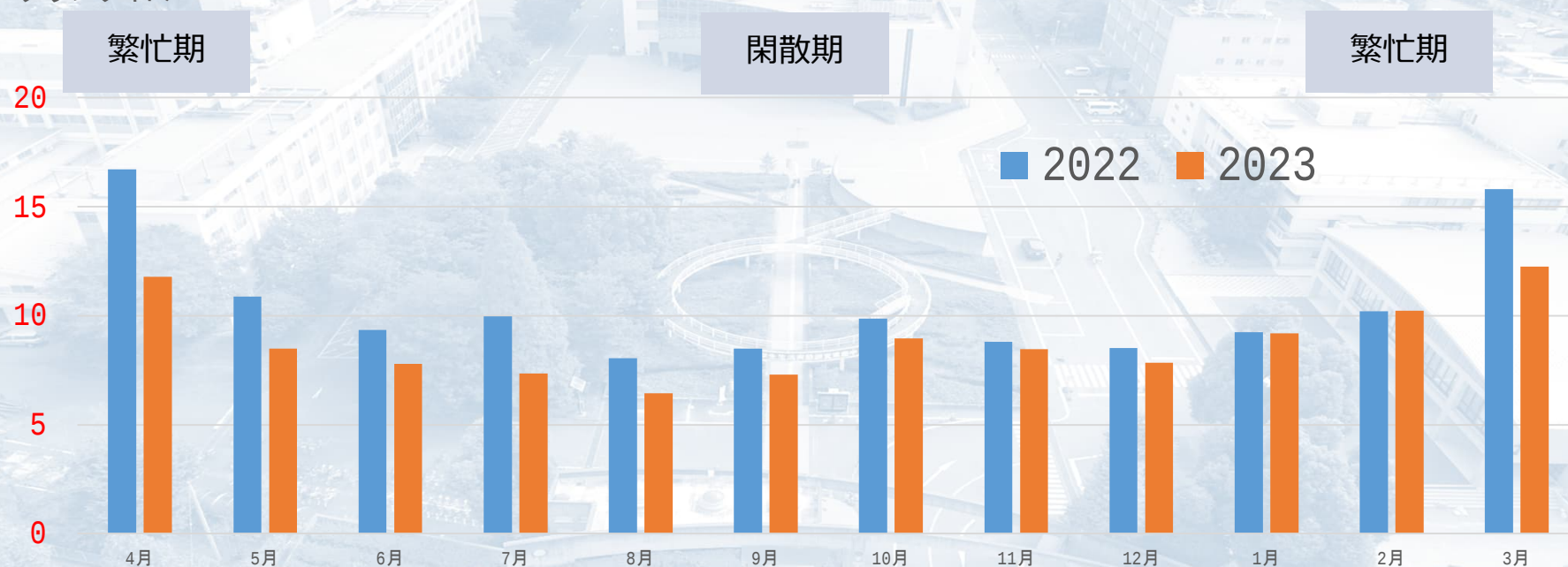
有給休暇は取得しやすいの？

個人の主観ですが、**取得しやすいです**。
業務都合がつけばすぐにとれる労働環境で、積極的に有給休暇を取得するように促し合う雰囲気があります。
また、法人は年に5日有給休暇を取得することが義務づけられております。

残業ってあるの？

部署及び繁忙状況によってあります。（2023年度月あたり平均8.8時間）
定時退庁日を設定するなど、組織的に残業削減に取り組んでいます。

グラフタイトル



※1人あたり平均残業時間

配属先はどうやって決まるの？

配属先は、**本人の希望、経歴及び本学の状況を総合的に判断**の上で決定します。

また、学内人事異動については、およそ2～3年程度を目安に実施しています。

(参考) 直近の新規採用者配属先

採用年度	安全管理室	学生生活課	学務課	企画広報課	経理課	研究支援課	国際交流課	財務課	入試課	学術情報課	総務課	人事課	総計
2023年度	1		1		1			1	1				5
2024年度		1			2	1	1				1	1	7
2025年度			1		1			3				1	6

An aerial photograph of the Nitech University campus in Nagoya, Japan. The image shows several large, modern university buildings with multiple stories and glass facades. There are green spaces, trees, and parking areas interspersed among the buildings. In the background, a dense urban landscape of Nagoya is visible, including various residential and commercial buildings. The overall scene is captured from a high angle, providing a comprehensive view of the university's layout and its integration with the surrounding city.

○ 名古屋工業大学公式ホームページ
<http://www.nitech.ac.jp/>

○ 採用に関する問合せ先
名古屋工業大学 人事課人事係
TEL:052-735-5012
E-mail:jinji@adm.nitech.ac.jp